

国際交流協会ジュニア会議スリランカ国訪問を終えて

私は、春休み期間の6日間を使ってスリランカ国へ訪問した。

今回は、日本語学校の生徒やコロombo市内にある女子一貫校の生徒などとの異文化交流や紅茶園や象孤児院などを見学するという目的で訪問した。

最初に訪れたのは、JSS 東京アカデミーという日本語学校だ。ここでは、交流会を行い、互いの文化を発表しあったりグループになって会話をしたりした。琴の演奏や鯉のぼりを見せた時、学生たちは興味津々で、日本の文化は海外から見るととても魅力的なものなんだなと思った。

日が変わり次に訪れたのは、DALADA MALIGAWA 仏舎利寺だ。ここでは、お参りを通してスリランカの歴史を学んだ。一番印象に残っているのは、シンハラ王朝の初代王がライオンの孫だといわれていることだった。国旗を見てみると右側に剣を持ったライオンが描かれている。その剣を持ったライオンはシンハラのシンボルという意味で描かれているが、この歴史からきているんだなと思った。

次に訪れたのは、ヌワラエリアだ。ここでは、紅茶園見学と茶摘み体験をした。紅茶園はのどかな風景が広がっていてとてもきれいだった。茶摘み体験ではお茶が渋くならないように若緑の葉だけを摘むので、見分けて摘むのはとても大変で時間もかかった。

次に訪れたのは、PINNAWARA 象孤児院だ。ここは、親と離れてしまった小象や群れから離れてしまった象が保護されているところで、小象のミルクあげや象の食事を見ることができた。象孤児院を見た後に少し離れた場所でジュニアメンバーのみんなと一緒に象に乗った。象の肌や毛はとても固くバナナをあげるたびに象の肌に手が触れ、鳥肌が立った。

また日が変わり次に訪れたのは、VIHARAMADEEVI 女子一貫校だ。ここでは、学校内を見学させてもらったり、民族衣装のサリーを着せてもらったりした。またここでも交流会を行い、互いの文化を発表しあい交流を深めた。交流会終了後に行われていた部活動も少し覗くことができた。

最後に訪れたのは、mahaladuwa 孤児院施設だ。この孤児院には、ボートサファリもかねて向かった。ボートサファリでは、マングローブを通ったり、空を飛ぶ鷹を見ることもできた。孤児院に着き、お経を唱えてもらった後に子供たちと触れ合った。みんな親を亡くしているのに、孤児たちはみんなで歌ったり、遊んだりしていてずっと笑顔でいた。どこの国にもこのような現実があることをしっかりと理解していかなければいけないと思った。

今回の研修では、スリランカの文化や海外から見た日本を知ることができた。また、語学学校や女子一貫校との交流会や孤児院視察などの貴重な体験もできたのでいい経験になった。

R.N.